

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 10文化財保護費

◎保護整備の経費

博物館整備事業

文化財課

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境:豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 博物館

意図 発掘調査出土品、民俗資料及び中世鎌倉を中心とした鎌倉の歴史資料等の整理、保管、研究、公開及び学習の場となる博物館を開設するため。

効果 発掘調査出土品及び中世鎌倉を中心とした鎌倉の歴史資料等を基に中世鎌倉の研究成果を発信する。世界遺産登録に寄与する。

【事業の内容】

(1) 博物館整備事業

- ・旧野村総合研究所に開設する複合(自然・歴史・美術)博物館のうち歴史博物館部分の整備を推進するため、専門的な見地から指導・助言を得るための専門家会議を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

博物館の整備(2-1-4-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,567	1,144	656		488

主な支出内訳

・博物館整備事業

博物館検討委員会委員謝礼 308

博物館検討用旅費 96

博物館検討委員会支援業務委託料 252

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-22 博物館整備事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1338 博物館整備事業					
主管課	文化財課	関連課	鎌倉国宝館、世界遺産登録推進担当、文化・教養施設整備担当				
分野名	歴史環境						
目標 (目標値)	発掘調査出土品、民俗資料及び中世鎌倉を中心とした鎌倉の歴史資料等の整理、保管、研究、公開及び学習の場となる博物館の早期の整備を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	656千円	583千円				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	656千円	583千円				
	人員配置数	0.5人	0.5人				
	人 件 費	4,749千円	4,689千円				
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	5,405千円	5,272千円				
	市民1人当 りの経費	31円	30円				
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (仮称)鎌倉博物館は、中世鎌倉の調査研究、発掘調査の出土遺物の保管・公開展示のため、早期の実現に向け着実な事業の推進を図っていかねばならない。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 「(仮称)鎌倉博物館」展示計画等検討委員会で有識者による博物館の基本理念、テーマとその性格付け、展示イメージ、諸室の配置等の検討を行い、その結果を報告書にまとめた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 野村総合研究所跡地土地利用計画に基づき複合博物館整備のなかで平成28年度を目標に開館を目指す。 「(仮称)鎌倉博物館」展示計画等検討委員会の報告書を基に行政計画を策定した後、関連課とも連携・協調しながら、学識経験者である専門委員の指導・助言のもと、さらに詳細に検討し基本設計に繋げていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	中世鎌倉の調査研究、発掘調査の出土遺物の保管・公開展示のために、博物館の整備を着実に推進していく必要がある。				
担当課長氏名:		中 里 一 男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	博物館は、出土遺物の保管・公開展示、中世史の研究、中世鎌倉の歴史教育の場として、また、世界遺産登録にあたっては、そのガイダンス施設としても必要なものであり、着実に整備を推進していく必要がある。				
担当部名	生涯学習部	部長名	金 川 剛 文		